

年 月 日

## 扶養照会に関する申出書

\_\_\_\_\_  
福祉事務所長 殿

氏 名 \_\_\_\_\_

1 私には、以下の扶養義務者がいますが、扶養照会は、しないでください。

(実在する扶養義務者（同居していない親族）と私との関係）（✓をつけてください）

婚姻関係にある配偶者 中学3年以下の子の親（離婚した元配偶者等）

父 母 子 祖父 祖母 孫 兄弟姉妹

2 1の詳細と扶養照会をして欲しくない具体的理由は別紙のとおりです。

3 なお、私には、仕送りしてくれる可能性が高い「おじ・おば、甥・姪」はいません。

\*\*\*

以下の場合、福祉事務所は扶養照会をしてはならないことになっています【別冊問答集問5-1】。

- ① 夫の暴力から逃れてきた母子、虐待等の経緯がある者、その他当該扶養義務者に対し扶養を求めることにより明らかに要保護者の自立を阻害することになると認められる者【課長通知第5問2③】

以下の場合、福祉事務所は扶養照会をしなくてよいことになっています【別冊問答集問5-1】。

- ② 当該扶養義務者が被保護者、社会福祉施設入所者、長期入院患者、主たる生計維持者ではない非稼働者（家庭の主婦など）、未成年者、概ね70歳以上の高齢者、これらと同様と認められる者【課長通知第5問2①】
- ③ 当該扶養義務者に借金を重ねている、当該扶養義務者と相続をめぐり対立している、縁が切られている等の著しい関係不良、一定期間（例えば10年程度）音信不通、その他要保護者の生活歴等から特別な事情があり明らかに扶養ができない者【課長通知第5問2②】
- ④ 上記のほか、扶養義務履行（仕送り）が期待できない者

この申出書は、生活保護を申請するあなたの扶養照会についての意向を明確にするためのものです。それぞれの親族が仕送りしてくれる可能性があるかどうかを、別紙のシートにご記入の上、セットで福祉事務所職員にご提出ください。